

はリンク

はWAMNETの事業者情報にリンク

事業所名

ひなた

日付 平成 20年 9月 17日
特定非営利活動法人

評価機関名 ライフサポート

評価調査員 在宅介護経験15年

評価調査員 介護支援専門員経験5年

自主評価結果を見る

評価項目の内容を見る

事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)

1. 評価結果の概要

講評

全体を通して(特に良いと思われる点など)

このホームの利用者からは「自分のやりがい」を持っている人がよく目に入る。ぬり絵を描く人達、ドリルに誇りを持っている人、洗濯物干しに自身のある人等自分のする事に自信があり、自慢も出来る人がいて、又それを認めている事に感心する。そして自分のやる事が自分の仕事と思ひ、根気良く続けている事である。

人間の機能として、生きる機能 人間らしく生きる機能 自分らしく生きる機能があると考えている。 は基本的な機能 に行く程脳の高次機能の働きとされるが、自分らしい生活をしているホームは少ない。自分らしく生きる為には、利用者自身の働きもあるが、それ以上にそのように生活行動出来るような環境作りと職員の支援の仕方が大きいと思う。もう一つは、利用者同士がお互いを認め合うという仲の良さも必要だろう。一人で何か作ったり、仕事をする時と、全体がまとまってするチームワークの良さのバランスが良い事がある。

これらの境遇の根拠として、運営理念と介護理念を掲げている細部の個々の項目からも自分らしい生き方をする為の考え方がよく読み取れる。日頃のケアのあり方として「利用者としっかり向き合い、話をよく聞いてあげる」「みんなの意志や希望を表出して貰えるようコミュニケーションをする」という事を管理者から聞き、なるほどと思えた。このように利用者の事を引き立てられるのは、職員の意欲の高まりと認知症に対する理解がなければならない。認知症の病気の事を介護職もよく理解し、一人ひとりの病気や症状の変化を適格に把握しながら、利用者の介護計画の作成の仕方を考え直して、介護項目や目標の設定を出来るだけ単純に絞り、具体的且つ客観的な内容をあげて、ケア効果を高めるよう検討して貰えれば、ホーム全体として介護能力が高まるのではないかと思う。

設立してから間もなく5年目に入る。理念や方針は設立以来一貫している。職員一同団結してケア及びサービス向上に努力している事が、利用者一人ひとりが落ち着いて自分の時間をゆったりと保っていることに繋がっている。職員も自分達の働き甲斐を持ち、利用者の人間味を回復してあげ、楽しくホームで過ごして貰えるよう努力している姿を見せて貰った。

特に改善の余地があると思われる点

職員の皆さんは大変明るく、のびのびとして利用者に接していた。理念にあげているケアに対する考え方が、日常のホームの生活に上手く生かされていると思う。これからは利用者の認知症の度合もどんどん重度化していくであろう。職員も病気の事はしっかり勉強していきたいという考えを持っているが、利用者の心身の機能の障害も増していくだろう。その時のケアの仕方、コミュニケーションの取り方、寝たきりにしない、利用者が何時までもリビングルームで過ごせる方法等、考えておいて欲しい。

2. 評価結果(詳細)

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か		
記述回答	<p>1、自主評価について…：開設時より、今の理念は代表者と管理者で作り、職員とも話し合っ て、全員がよく理解している。毎年度に特に重要課題を目標として掲げており、その実現に努 力している。理念や方針は、日常のケアとサービス提供の上に完全に定着している。</p> <p>2、全体的に見て…：運営理念として「優しさで温かさをケアに！」を掲げ、その中で「一人ひと りのその人らしさを大切にします」「自立・意思・役割・尊厳を尊重した介護をします」が主な項目 である。介護理念としては「ゆったりとしたリズムで自然とのふれあいのある生活をして頂きます 」「出来る事はして頂き、健やかな生活をして頂きます」の項目が目につく。これらを具体的な 目標を立て実現している。</p>		

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり		
4	建物の外回りや空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か		
記述回答	<p>1、自主評価について…：広々とした敷地の一角に、ゆったりとしたスペースのホームが、2つ のユニットが並んで建てられている。裏には畑もあり、周辺は田園地帯に住家が並んでいる。近 くには英国庭園があり、散歩コースとして絶好の立地である。生活空間としては問題ない。</p> <p>2、全体的に見て…：利用者はリビングルームで過ごす時間が長い。そこからバルコニーに出 る事が出来る。利用者は、ぬり絵をしたり、はり絵等の作品作りに没頭している。自分の仕事と 考え、一日中夢中でしている人も居るし、自分の作品に自信を持っている。洗濯物を干したり、 畳んだりして家事に役立つ人もいる。リビングルームのテーブルに集まって、利用者はお互いに よく喋っている人が多い。生活空間は利用者職員で形成されている。</p>		

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人でできることへの配慮		
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		

III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	プライドを大切にした整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物の支援		
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か		
記述回答	<p>1、自主評価について…：職員は利用者を見守り、利用者本位の生活を支援している様子はよく 確認出来る。4年経過して、介護計画の様式と見直し、利用者のアセスメント情報をもっと収集し て、一人ひとりの介護指針を効率的に定められるようにしたいと考えている。他にもケアに関して改 良を加え、職員間でケアの目標をしっかりと共有していきたいという気持ちがある。4年間の経過から これらを見直すのは絶好の機会だと思う。</p> <p>2、全体的に見て…：利用者一人ひとりの患っている病気についてもっと知っておきたいと職員間 で言っているという事は、介護職であっても大変重要だと思う。これからのそれぞれの人の状態を 予測した上で何をケアしたら良いか適格な方針が考えられ、人間として一番大切な人生を送れるよ うにケアの課題を持つ事に期待しておきたい。</p>		

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	災害対策		
33	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
34	家族への日常の様子に関する情報提供		
35	運営推進会議を活かした取組		
36	地域との連携と交流促進		
37	ホーム機能の地域への還元		
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か。		
記述回答	<p>1、自主評価について…：運営推進会議は2ヶ月に1回開催して、地域との交流に役立っている が、参加協力してくれるメンバーも増やして交流の幅を広げると良いのではないだろうか。ホーム自 体の体制が整ってくれば、地域にその力を提供していける事も考えていこうとしている。地域密着度 を高める方策を考えていく事も必要と思う。</p> <p>2、全体的に見て…：代表者(夫人)とホーム長・管理者はしっかりしたスクラムを組んで、ホーム のケア及びサービス提供の向上に努めており、職員とのチームワークの良さやまじめさはこのホーム の特長と言える。このホームの中で、利用者は安心して自分らしさを発揮して生活出来ている。 利用者の生活の様子、コミュニケーションの内容から得た利用者の心、利用者の人間味回復度合 等を家族にしっかりと伝えてあげて欲しい。</p>		